▼大船フラワーセンターの催し
▽フラワーコンサート4日11時・14時、原美月さんのチェロ演奏。無料。▽園長花さんぽ11日10時、見頃の花を紹介する。無料。▽Aハロウィンフラワーアレンジメント17日11時・13時半、カボチャを使ったアレンジメント作り。千円。要申込。▽有島薫氏のバラガイドツアー23日13時半、無料。▽B色鉛筆植物画入門・秋編24日10時・13時半。2千円。要申込。▽鎌倉ジュニアオーケストラ特別コンサート25日11時・13時・14時・15時、無料。▽菊ガイドツアー31日10時半・13時半、菊花連盟のガイド。無料。▽Cポンポン菊でウサギ作り11月7日11時・13時半。千円。要申込。

A4日まで、B11日まで、C25日までにホームページか往復ハガキで申込。☎46・2188

▼逗子の市（雨天中止）
亀岡八幡宮境内。▽フリーマーケット10月28日9～15時。▽骨董市31日8～15時。片岡方☎090・5442・3778

▼観光遊漁船クルーズ
11月1日10時・14時、小坪漁港の漁業振興センター。小学生以上対象。漁師と小坪漁港から江の島を往復し海を満喫する。小学生5百円、中学生以上2千円。逗子市観光協会☎046・873・1111

▼出張！お出かけてらこや
10月4・17・18・31日14時、大船駅笠間口横の広場集合。小中学生と保護者対象。大学生と一緒に笠間中央公園で遊ぶ。無料。鎌倉てらこや☎84・9746

▼逗子アートフェスティバル2020～生活とアートと
3年に一度の「逗子アートフェスティバル」が10月9～25日、逗子市内各所で開かれる。
芸術文化活動で地域の活性化を図る市民と市の協働事業。
その一部を紹介。

▽MIRRORBOWLER10月9～11日17時亀岡八幡宮。巨大ミラーボール作品の展示。無料。

▽まぜこぜおばけ　ぼくたちのうたがきこえますか10月9日11時・10日9時半、逗子プラザ。1500人以上が参加した大型インスタレーション。海洋プラスチックが素材の作品を展開。無料。
▽空き家おくりびと10月10～12・16～19・23～25日11時、森川邸。逗子小学校近くの空き家「森川邸」の思い出をテーマにした作品展示。無料。
▽みんなでアート10月12日～YouTubeで無料配信。逗子の共生社会の体感。ファッションショー、音楽演奏など。
▽池子の森の音楽祭10月24・25日10時、池子の森自然公園。ライブ、フードエリアなど。1500円、高校生以下無料。

季節の心 ㊾
“ぜんざい”は出雲生まれ
佐伯　仁

●名物に由緒あり…
10月。異名では神無月。全国の神々が一挙に出雲に集まり縁結び。そのため出雲では神在月（かみありづき）という。出雲に集まった神々は全国の男女の名札結びに忙殺される。
天照大神をはじめ奮闘する神々の姿は浮世絵（えんむすびたまわうのず）＝八百万（やおよろず）神（かみたち）達縁結給図に描かれている。
一週間の作業後、神々は地元へお発ちになる。その戻る「神等去出祭（かむさらでさい）」の日、各家では小豆雑煮＝神在餅を神棚に供える。
現在、神迎え、神送りは新暦の11月25日～12月1日まで続く。
その神在餅（じんざいもち）は出雲の方言で「ずんざい」、京都で「ぜんざい」となる。
興味深いのは関東では汁気のある小豆煮は「しるこ」、関西では「ぜんざい」という。
いずれにしても餅も小豆も神威（しんいの）の証（あかし）。かつて小豆を食べる日は決まっていた。その日は神や先祖を祀る「厳（いつ）く」日。「厳」は神を示す語。つまり「小豆」と「厳」との〝音〟の類似が小豆の神聖視を生んだ、といえるだろう。
小豆は1月の季語。祝いの日々が続く新年にふさわしい。
また小豆粥を炊き、椀に移し、吹いて食べると稲への風害はないとか。

乳飲子（ちのみご）の口に一粒
小豆粥　中野三允（なかのさんいん）

◆◆◆◆◆ 第15回鎌倉芸術祭 ◆◆◆◆◆

歴史と伝統ある鎌倉の地から新しい芸能・文化を発信する「鎌倉芸術祭」が10月3日から12月20日まで開催される。問い合わせ同事務局☎0467・23・3755

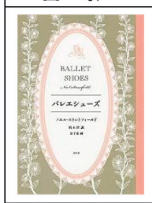
催し名	開催日／会場	料金	問い合わせ先
観音かみしばい「鎌倉はせでら不思議物語」	10月毎週土・日曜日 11時・14時 長谷寺 さくら広場	拝観料のみ	長谷寺 ☎0467-22-6300
第62回鎌倉薪能 金春流 素謡「翁」仕舞「羽衣」・「鍾馗」	10月15日以降 無観客オンライン無料配信	無料	鎌倉市観光協会 ☎0467-23-3050
鎌倉能舞台「能を知る会」 ①籠太鼓・熊坂 ②鶴亀	①10月21日10時・14時 ②11月3日13時 鎌倉能舞台	各回5,800円 ※動画を有料配信予定	鎌倉能舞台 ☎0467-22-5557
藤岡牧夫と長谷寺 子ども忍者の世界展	①11月1日～12月20日 平日9時～16時半 土日9時～18時 長谷寺観音ミュージアム	大人300円 子供150円（別途：拝観料）	長谷寺 ☎0467-22-6300
「秋に奏でる世界の民謡」 小林真理　メゾ・ソプラノ 田中恭子　ハープ	①11月7日 15時～16時半 鎌倉生涯学習センター	3,000円	安江優子 ☎03-3705-4413
①トークイベント「ルーブル美術館からの出発」「幻の画家・笠木治郎吉を語る」 ②絵画展「世界に挑む画家7人」特別出品「笠木治郎吉」作品集	①11月7日14時半 鎌倉パークホテル ②11月8～23日 11時～18時 鎌倉パークホテル・かさぎ画廊	①2,000円（要予約） ②無料	かさぎ画廊 ☎0467-23-3876 ☎090-5568-8226
僧侶と巡る鎌倉十三仏	①11月10・25日 東の巡礼（明王院ほか六カ寺） ②11月11・26日 西の巡礼（浄智寺ほか七カ寺）	各11,000円	鎌倉十三仏実行委員会 ☎0467-40-3044

▽ラン、ウェイ10月10～15日東逗子エントランス。針や糸を使わずに制作したドレスの展示。無料。逗子アートフェスティバル実行委会☎046・873・1111

▼第15回湘南邸園文化祭2020
10月2日～12月10日相模湾沿岸地域一帯で開かれる。その一部を紹介。
鎌倉▽エリアナ・パヴロバ顕彰碑、腰越戦没者慰霊碑めぐり10月10日13時江ノ電七里ヶ浜駅改札前集合。5百円。申込はメール。鎌倉邸園文化クリエイション☎32・1650▽「数寄屋造りと日本庭園のみかた」講座@旧山本条太郎別荘10月30日10時・13時半。旧山本条太郎別荘。2500円。申込はメール。庭屋一如研究会☎080・7115・2644
逗子▽脇村邸サロン「脇村義太郎を偲ぶ」10月17日13時逗子市役所集合。千円。申込はメール。逗子の文化をつなぎ広め深める会☎080・5096・1385
藤沢▽盛岩寺昭和文化館墨跡風入れ展と展示解説11月1～3日10時盛岩寺昭和文化館。無料。☎0466・48・5653
▽旧モーガン邸で楽しむ藍染体験会10月8日11時・13時旧モーガン邸庭園。千円。申込、問い合わせはメール。旧モーガン邸を守る会。
葉山▽里山を散歩し、里山の食材を味わう11月7日10時滝の坂バス停集合。3500円。申込はメール。原風景を生かすまちづくりの会☎090・2312・2257
同文化祭連絡協議会☎045・341・0087

◆鎌倉朝日9月号「身体にいい音楽会」チケットプレゼント当選者　今立保治（鎌倉市）、土屋克規（逗子市）（敬称略）

自宅でゆっくり読書のすすめ
－新訳で楽しむ名作－

書影	書籍情報 & あらすじ	おすすめポイント
	**『バレエシューズ』（2019年）ノエル・ストレットフィールド著　朽木祥訳　福音館書店**　舞台は1930年代のロンドン。学者に引き取られた身寄りのない3姉妹が、その名を歴史に残そうと誓い、自立の道を歩む物語。	当時は珍しかった女性の自立を描いた古典名作を、鎌倉在住の作家朽木祥さんの完訳で復刊。リズムとテンポの良い新訳で、現代人にも響く一冊に。華やかなショービジネスの世界も見どころ。
	『長くつ下のピッピ』（2018年）アストリッド・リンドグレーン著　菱木晃子訳　岩波書店　みんな大好き世界一強くて自由な赤毛の女の子ピッピ。サルのニルソンさんと馬とごたごた荘で、ハチャメチャに大活躍！	次の100年先まで手渡すために、あのピッピが、作者がお気に入りだった挿絵とともに新訳で登場。ぜひ声に出してテンポの良さを実感あれ。『やかまし村』や『名探偵カッレくん』の新訳も必見。
	『ハックルベリー・フィンの冒険』（2018年）マーク・トウェイン著　千葉茂樹訳　岩波書店　19世紀アメリカ南部、気ままに生きる少年ハックと黒人奴隷のジムが、筏でミシシッピ川をくだる冒険物語。	熱狂的なファンを生み出した一方で、アメリカ南部の方言の訳が読みづらく、挫折組も多かった本作。特徴でもあった方言をあえて割愛し、差別用語を避けた新訳で格段に読みやすくなっている。
	『楽しい川辺』（2017年）ケネス・グレアム著　杉田七重訳　西村書店　動物自然ファンタジーの名作。モグラ、川ネズミ、ヒキガエル……イギリスの豊かな田園に暮らすゆかいな動物たちの心躍る冒険物語。	100年以上読み継がれてきたイギリスの名作が、ロバート・イングペンのオールカラー挿絵とともに、新訳・豪華愛蔵版で登場。手元に置いて、日々眺めたくなるような一冊で、プレゼントにも。
	『ジャングル・ブック』（2015年）ラドヤード・キプリング著　三辺律子訳　岩波書店　人間だが、オオカミに育てられた少年モウグリが、ジャングルの掟を学び、成長していく物語。	映画化やアニメ化もされた古典名作。モウグリ以外のエピソードも収録された完訳版が希望なら、山田蘭訳角川文庫版がおすすめ。他にもさまざまな新訳が出ているので読み比べも面白い。
	『小公女』（20011年）F・H・バーネット著　高楼方子訳　福音館書店　誰もが知る古典名作。舞台は19世紀ロンドンの寄宿学校。大金持ちから無一文になった少女セーラがたぐり寄せた友情と奇跡の物語。	新訳はさまざま出ているものの、海外児童文学を読み込んできた高楼方子さんの訳は読みやすく、かつ精確！「けなげなよい子が幸せをつかむシンデレラストーリー」という見方をくつがえす、画期的新訳だ、と出版社も自信作。
	『ツバメ号とアマゾン号』（2010年）アーサー・ランサム著　神宮輝夫訳　岩波書店　1930年代、小さな帆船『ツバメ号』を操るウォーカー家の4人兄弟が、子どもたちだけで無人島で過ごす夏休みの冒険物語。	聖地巡礼者が後を絶たないほど根強い人気を誇る一方で、現代の子どもたちには読みにくいという声もあったランサム・サーガ（全12巻）。新訳では、ヨットの専門用語などがより現代的な訳で読みやすくなっている。

購入新図書のリスト抄
鎌倉市中央図書館（8月分）

鎌倉市中央図書館（☎25・2611）は8月に一般184冊、児童書29冊を収蔵した。一般的なものは下記の通り。
▼「リビング・シフト－面白法人カヤックが考える未来」柳澤大輔著　KADOKAWA▼「特攻最後の証言－100歳・98歳の兄弟が語る」岩井忠正著　岩井忠熊著　ザ・ブック▼「黒い雨に撃たれて－二つの祖国を生きた日系人家族の物語　上下」パメラ・ロトナー・サカモト著　慶應義塾大学出版会▼「湯川秀樹の戦争と平和－ノーベル賞科学者が遺した希望」小沼通二著（岩波ブックレット）▼「変質する世界－ウィズコロナの経済と社会」Voice編集部編（PHP新書）▼「危機の正体－コロナ時代を生き抜く技法」佐藤優著（朝日新書）
▼「図解「届け出」だけでお金がもらえる制度一覧－最新版」小泉正典監修　三笠書房▼「美しい数学入門」伊藤由佳理著（岩波新書）▼「ねじれとゆがみ－毎日すっきりセルフ整体教室」別所愉庵著　晶文社
▼「海と地域を蘇らせるプラスチック「革命」」グンター・パウリ著　マルコ・シメオーニ著　日経BP
▼「ワークマンは商品を変えずに売り方を変えただけでなぜ2倍売れたのか」酒井大輔著　日経BP▼「ホテル御三家－帝国ホテル、オークラ、ニューオータニ」山川清弘著（幻冬舎新書）▼「99%の人が速くなる走り方」平岩時雄著（ちくまプリマー新書）▼「辰巳芳子ご飯と汁物－後世に伝えたい食べ物」辰巳芳子著　NHK出版

鎌倉朝日 発刊協力グループ 朝日新聞サービスアンカー

ASA鎌倉小町　長谷一－一九　☎22－3236
ASA鎌倉中央　二階堂四－七　☎22－1004
ASA鎌倉深沢　常盤二四七－二　☎31－1444
ASA大船西部　玉縄一－一四－一　☎46－6068
ASA大船南部　大船四－二一－一〇　アーバンハイツ1F　☎38－7322
ASA大船中央　大船四－二一－一〇　アーバンハイツ1F　☎38－7322
ASA腰越　藤沢市鵠沼藤が谷二－一－二三　☎0466－27－8716
ASA藤沢南部　藤沢市鵠沼藤が谷二－一－二三　☎0466－27－8716
ASA藤沢東部　藤沢市弥勒寺三－二二－一一　☎0466－22－7409
ASA湘南鵠沼　藤沢市鵠沼海岸二－一－一一　☎0466－34－6924
ASA逗子　逗子市久木一－一－一一　☎046－871－2368
ASA東逗子　逗子市沼間一－四－四　☎046－871－6845
ASA葉山　三浦郡葉山町堀内一八〇八　☎046－875－0515
ASA金沢八景　横浜市金沢区六浦三－一－一〇　☎045－701－8616
ASA大船北部　横浜市栄区笠間四－一－一九　☎045－891－0986